

ジュニア科学クラブ 8

★★

花火のひみつ

リニューアルオープンしてさいしょのジュニア科学クラブは、夏にぴったりに！花火のサイエンスショーです。

ふつうの紙とかとちがって、花火はパチパチ火花をとばしていきおいよく燃えます。いったいどうして？それに、花火にはカラフルな色もついています。なんで炎に色がつくのでしょうか？

実際に花火を作って実験しながら、花火のひみつにせまります。



いのぐち むつこ(科学館学芸員)

■8月のクラブ■

8月18日(日) 9:45 ~ 11:30

◆集合 合：サイエンスステージ(展示場3階)

9:30~9:45の間に来てください

てんじ場入口で会員手帳を見せてください

◆もちもの：会員手帳・会員バッジ・実験教室の方は必要なもの

◆内容 9:45~10:30 サイエンスショー見学(全員)

10:30~11:30 実験教室(会員番号1-50)

10:30~11:30 展示場見学(会員番号51-100)

・途中からは、入れません。ちこくしないように来てください。

※最新の情報は、科学館公式ホームページ(<https://www.sci-museum.jp/>)をご覧ください。

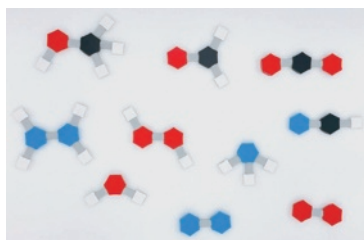
ここから2ページはジュニア科学クラブ(小学校5・6年生を対象とした会員制)のページです。



8・9月の実験教室

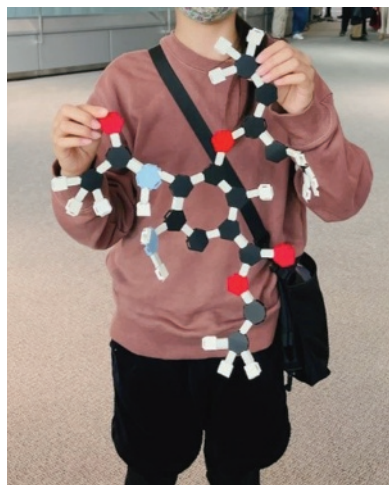
分子をつくってみよう

この世界のどんな物質も、「原子」という小さなつぶの集まりです。原子の大きさは、だいたい1千万分の1mm！ぜっ
たいに目で見えません。そして、いくつか
の原子がつながったのが「分子」です。



分子もまだ小さすぎて目に見えませんが、物質の色や電気の流れやすさ、固さなどの性質をしらべたり、新たな物質をつくったりする化学者はみな、分子や原子を想像しながら研究をしています。

どんなことをするの？



ペーパークラフトのように組み立てることができる分子模型「PuzMol(パズモル)」でいっしょに分子を組み立てて遊びながら、小さな世界を想像してみましょ。分子模型は持ち帰ることができます。やったことがある人は、もっと複雑な分子模型に挑戦だ！(左はインフルエンザの薬「タミフル」の分子模型)

山本典史 先生(千葉工業大学工学部応用化学科 教授)、
株式会社 QunaSys (キュナシス)
光・量子飛躍フラッグシッププログラム(Q-LEAP)